

教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒
明るく思いやりのある生徒
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第16号

平成29年 9月21日発行

須賀川市立第二中学校

☎75-2910

発行責任者：校長 高崎則行

仲間とともに学んだことが一番の力になる 予測困難な社会を「生き抜く力」をはぐくむために



予測できない社会の変化に主体的に向き合い、将来の社会と自分自身の人生を幸福なものとして創っていくことが、子どもたちに求められています。すなわち、情報や出来事を受け止め、唯一の正解（絶対解）のない課題に対して、主体的に判断し、様々な他者と協働しながら目的に応じた最良の答え（納得解）を見いだしていく資質や力を培っていくことが、今後の教育の課題となっています。

放課後、部活動の練習を見て回りました。吹奏楽部が、3階の教室や廊下を使って担当楽器ごとに分かれてパート練習をしていました。5人以上のグループもあれば、2人、3人のグループもあります。こちらでは、話し合っ課題を見つけ、そこに意識を集中して一緒に演奏しては、改善できたかどうかを話し合っているグループがあります。あちらには、一人が手拍子でリズムを刻んで、もう一人が実際に吹き、別の人が指だけを正確に動かす練習をしているグループもあります。このような活動が、冒頭の資質や能力の育成につながるのだと考えます。

授業中にも、同様の活動が見られます。実際の授業は複雑なので、簡潔なモデル（例）で考えてみましょう。

A子「Bくん、容積って何？」

B男「容積って、体積のことだよ」

A子「なんだ！ 体積のことか」

B男「じゃあ、この箱の体積は、どうやって計算する？」

A子「？」

B男「これは直方体だね。直方体の体積の計算は？」

A子「たて×横×高さ」

B男は自分のわかり方をもとにして、A子が自分で気づくように丁寧に関わっています。こうしてA子はB男のわかり方を自分のものにしていきます。また、B男自身は、教えることによって自分のわかり方を深く認識できるようになるのです。

次のように学習が続いた場合はどうでしょうか。

B男「たては4cmでしょ。横は8cm。高さが書いてないね」

A子「高さを求めるにはどうしたらいいの？」

B男「むずかしいね」

A子「この6cmと2cmってどこの長さ？ これを使って高さが求められないかなあ」

B男「あ、もしかして……。この6cmのところで横線と平行に補助線を引いてみようか」

A子とB男が一緒になって考えて、自分たちのわかり方を創り出していることが分かりますね。互いに知恵を出し合っ、互いに学び合っているのです。

上のような事例を「教え合い」、下のような事例を「学び合い」といって区別することができます。このような活動を重視して、生徒が「主体的に活動し、他者との対話を通して、深い学びが実現するような授業」を目指してまいります。



各種表彰の記録・夏休み中も活躍

夏休み中の大会等の表彰者を以下に紹介します。(敬称略 ○に数字は学年)

東北総合体育大会山岳競技

少年女子総合：1位 齊藤なお③

少年女子ボルダリング：1位 齊藤なお③

県南中学1・2年ソフトテニス研修大会

男子の部：1位 女子の部：1位

伊藤園お〜いお茶新俳句大賞

都道府県賞 大山周太郎①

福島県中学校水泳選手権大会

3年生女子400m自由形：2位 武藤妃花③

1年生女子50m平泳ぎ：1位 有我由宇①

福島県中学生シングルスソフトテニス大会

5位 吉田航① 2位：鎌田美樹②

東北新人野球大会岩瀬地区大会 第3位

お知らせ2件

—その1—

本紙第13号で、9月20日(水)開催の少年の主張大会県大会に、齊藤なお(3年)さんの出場が内定したと書きました。最終的に齊藤さんは出場がかないませんでした。「勇み足」となってしまったことをお詫びします。

—その2—

高校1年生という若さで不帰の客となった堀明子さんの小学生時代からの作品を展示した詩集展が阿武隈小学校で開催中です。開催期間は9月30日(土)まで。土曜日、日曜日も9:00~17:00まで閲覧できるそうです。瑞々しい感性で綴られた作品を是非ご鑑賞下さい。

子ども110番の家の皆様 いつもありがとうございます

夏休み期間を利用して、子ども110番の家にご挨拶に伺いました。生徒がどのような通学路を利用しているかなど、地域の様子を理解するため歩いて訪ねました。どのお宅でも温かく対応していただき、地域の特色などを教えていただいたりもしました。

本校がお願いしている子ども110番の家は、以下の皆様です。

- | | |
|--------|------------|
| 1 北町 | 末原屋商店さま |
| 2 上北町 | 須田商店さま |
| 3 守谷館 | 榊原工業さま |
| 4 新栄町 | 理容ヘンミさま |
| 5 堤 | 安藤酒店さま |
| 6 堤 | 安藤松夫さま |
| 7 上江持 | 西間木理容さま |
| 8 芦田塚 | 理容アンドウさま |
| 9 十貫内 | ヘアーポジションさま |
| 10 十貫内 | 佐藤 豊さま |
| 11 森 宿 | ヘアー専科604さま |
| 12 森 宿 | 石井商店さま |
| 13 滑 川 | 齊藤敏夫さま |
| 14 滑 川 | 渡辺文夫さま |
| 15 弘法坦 | 阿武隈時報社さま |
| 16 あおば | 阿武隈研磨工業さま |
| 17 あおば | 須賀川ジェラートさま |

子ども110番の家は、某コマースシャルのように「あってはならない、無くては困る」という性格のもので、利用したことがなくても、利用することがないにしても、お世話になっているのです。生徒が日頃からあいさつなどのコミュニケーションを大切にしてくれるといいなと思っています。

ことばの力⑤「一丈の堀を越えんと思わん者は……」

「一丈の堀を越えんと思わん者は、一丈五尺を越えんと励むべきなり」(法然※1)

幅一丈(約3メートル)の堀を越えようとするならば、その1.5倍を目標に努力しないと容易に達成はできない、という意味です。

岩瀬支部駅伝競走大会直後の3年生男子との会話です。

「決して悪い結果ではないけれども、ちょっと悔しいね。」

「高校受験は、『惜しかった』では済ませられない。少しでも甘い気持ちがあったらだめだ。」

10回トライして、8回くらいは目標の記録(点数)に達しているのに、本番でそれが出せないという経験はよくあることです。だから、目標を高めに設定して努力することが必要なのです。

次のことばもセットにして日々の生活に活かしてくれたら、目標はぐっと近づいてくるでしょう。

「今日一字を覚え明日一字を覚え、久しければ博学となる。」(中井竹山※2)

一日の成果は少しでも、堅実に積み重ねれば大きな成果を生む。しかし、それは一朝一夕にはならないのです。

※1 法然 平安末・鎌倉初期の僧。浄土宗の開祖 ※2 中井竹山 江戸時代中期の儒学者

この学校だよりは、本校HPからもご覧いただけます。